

平成17年7月26日

各 位

会社名 テクモ株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村 純司
(コード番号 9650 東証第一部)
問合せ先 取締役管理統括部長
山本 義人
(TEL. 03-3222-7645)

平成17年12月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年2月23日に公表しました平成17年12月期中間期の業績予想を下記のとおり修正致します。

なお、平成17年12月期通期の業績予想につきましては、前回発表予想値に変更はありません。

記

平成17年12月期中間期業績予想数値の修正(平成17年1月1日～平成17年6月30日)

(1) 連結中間期業績修正 (単位 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年2月23日発表)	4,500	570	180
今回修正予想(B)	3,970	600	250
増減額(B-A)	530	30	70
増減率(%)	11.7%	5.2%	38.8%

(2) 単体中間期業績修正 (単位 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年2月23日発表)	2,000	400	180
今回修正予想(B)	1,800	600	300
増減額(B-A)	200	200	120
増減率(%)	10.0%	50.0%	66.6%

(3) 修正の理由

家庭用ゲームソフト部門で、PS2 向け新規発売ソフト「楽勝!パチスロ宣言3」「影牢-Dark illusion-」を国内市場に発売し順調に販売本数を伸ばしたこと、更に既発売タイトルのリピート販売も好調に推移したこと、業務用ソフト販売部門で、パチスロ機液晶画面ソフト「リオデカーニバル」、パチンコ機液晶画面ソフト「CR アントニオ猪木という名のパチンコ機」「CR うる星やつら2」を投入し好評を得たこと等により、経常利益は、連結で5.2%、単体で50.0% 期初予想を上回り、当期純利益も連結で38.8%、単体で66.6%と期初予想を大幅に上回る見込みです。

売上高は、一部業務用ソフトの発売時期のズレ込み、及びアミューズメント施設運営事業部門における市場低迷の影響を受けたこともあり期初予想をやや下回る見込みです。

(ご参考)平成17年12月期通期業績予想

家庭用ゲームソフト販売事業部門において下期は、PS2 向け新規発売ソフト「零～刺青の聲～」「モンスターファーム5 サーカスキャラバン」他1タイトルを、また Xbox 向け新規発売ソフト「NINJA GAIDEN Black」「TECMO CLASSIC ARCADE」をワールドワイドに投入してまいります。さらに、ニンテンドーDS 向け新規発売ソフト「タッチ de 楽勝!パチスロ宣言」及び、PSP 向け新規発売ソフト「KARAKURI」の発売を予定しております。また今冬マイクロソフト社から発売されます新型ハード機Xbox360向けキラーコンテンツとして、新規発売ソフト「DEAD OR ALIVE 4」を発売いたします。

アミューズメント施設運営事業部門においては、既存店のリニューアルなど、売上増に向けた施策を実施していくことにより業況の回復を見込んでおります。

これらの要因により、通期の業績予想は平成17年2月23日発表の予想値に変更はありません。

(単位 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
連結通期業績予想	14,400	2,750	1,440
単体通期業績予想	8,500	2,090	1,140

以 上